



学校だより

学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第 26 号

令和 4 年 11 月 30 日発行

文責 校長 淵上 純

名護屋小との交流学習 11/24(木)

名護屋小学校との交流学習を新型コロナの影響で昨年、一昨年と2年間中止していましたが、今年度は、名護屋小と話し合い感染対策を十分に行った上で実施することになりました。

11/24(木)朝、いつも通り校門前で子どもたちを迎えていましたが、名護屋小との交流を楽しみにしていたようで、いつも以上に元気一杯に登校してきました。朝の会を済ませて、小学生7人、先生6人で8:50発の加唐発のかから丸に乗り名護屋小学校へ向かいました。



【 屋上から見える加唐島 松島 】

学校に到着すると、最初に名護屋小の4F ランチルームの屋上に案内されました。とても天気が良く加唐島と松島(小松島も見えました)をはっきりと見ることができました。

その後、早速、各教室に入り下記の表の授業を受けました。3年生以下の初めて交流学習を経験する子どもたちは、最初、少し緊張気味でしたが、名護屋小のお友達が明るく、元気に迎え入れてくれたおかげで、すぐに慣れていたようでした。

	1年生	2年生	3年生	4年生	6年生
2時間目	図工	国語	韓国学習	図工	ミニレク
3時間目	図工	韓国学習	学活	図工	体育
4時間目	韓国学習	学活	外国語	総合	総合

給食はコロナ対策で加唐小と同じように黙食でしたが、20分休みや昼休みはグラウンドや体育館で元気よく一緒に遊んでいたようでした。



【 交流学習の様子 】



【 交流学習の様子 】

帰りの会では、交流学習のふりかえりを行ったり、クラスで写真を撮ったりして、あっという間に時間が過ぎて加唐小7名の

子どもたちの表情や名護屋小の子どもたちの雰囲気がとてもよく、お互いに充実した交流になったようでした。今後も機会があれば交流を継続していきたいと思います。

原子力防災 陽圧化フィルター設置説明会 11/28(月)

11/28(月)11:00 から唐津市危機管理防災課の中江さん
にお願いし、原子力防災時の陽圧化フィルターについて、
実際に、ダミーフィルターを使い、設置しながら説明をし
ていただきました。



【校舎北側
(多久島教頭先生が作業中です)】

緊急対応時には、本物の
フィルターと工具は、パ
ソコン室倉庫に保管して
あり、そこから持ち出し、
校舎東側に 1 か所、校舎北側に 2 か所の計 3 か所に設置
することになります。

校舎東側については取り付けやすい場所でしたが、校舎
北側 2 か所は、機械の中に入って設置することになり、狭
い空間で厳しい状況での作業になるようです。

職員にもしっかりと伝達し、緊急時にはスムーズに対応できるように訓練し、危機管理に努
めていきたいと思います。



【校舎東側】

集会⑦ 校長先生の話 11/29(火)

11/29(火)朝の集会は校長先生の話でした。今回の話
は、古代中国の思想家「莊子」の体験談から「自分を眺め
る」という下記の話をしました。

「ある日、莊子が山道を歩いていると、小川に一羽の鳥
が何かをねらって立っている。捕まえようと近寄ったが、
鳥は逃げようとしない。見ると鳥は一匹のカエルを食べ
ようと夢中で、自分の気配に気づかないらしい。一方、ね
らわれているカエルはカエルで眼前の一匹の羽虫を食べ
ようとして、自分をねらう鳥の存在に気づいていなかった。
その状況を察したとたん、莊子は恐怖を感じて、杖を投げ捨て逃げ出したという。その
理由はなぜか？」

答えは、莊子が「鳥もカエルも他を害することにとらわれ、自分を害そうとする存在に気
付いていない。まてよ、自分も今、鳥をねらおうとしているが、同様に誰かにねらわれてい
るかもしれない。」と気付いたからです。

そして、莊子は次のようにまとめています。「人は常に自分なりの考えで行動する。それは
自然なことである。しかし、より広い視野で自分の行いを眺めれば、自分と違った考えも見
え、より成長することができるのではないだろうか。他人の目線で自分を眺めることを心掛
けたいものだ。」

この莊子の体験は、私たち大人にも子どもたちにも大切な考え方を語っていると思います。
自分を成長させるためにも、他の人にやさしくするためにも「自分を眺める」という視点をも
って生活していきたいものです。



【莊子が逃げ出す場面】